

茨城県 高校入試情報

令和7年度茨城県入試の全体傾向

●入試問題の構成と特色

- 大問数は6問、小問数は21問で、例年通り。
- 大問1・2は基本問題の小問集合、大問3は会話形式の確率、大問4は合同の証明を含む三平方の定理、大問5は関数、大問6は空間図形と相似の問題が出た。
- 大問4の証明は穴うめ式。一部記号選択で、合同条件は記述する。
- 大問5は、タブレット端末の画面で、座標軸上の点を動かす設定。
- 大問3の会話形式の確率の問題は3ページ構成。問題を解くために必要な情報に線を引くなど、読み取る工夫が必要。

★茨城県の入試は、『数学の新研究』でバッチリ！

■関数の利用の問題の出題

・関数で表される関係について、グラフを使って考えたり、関数の式を利用して解く問題がよく出題されている。

新研究で対策！

●整理編単元15 1次関数②
B問題 (p. 81) や、「変化のようすに注目！図形上の動点を考える問題」 (p. 180～181) で、入試によく出るパターンに取り組むことができます。

■三平方の定理を利用した問題の出題

・体積や面積などの三平方の定理を利用した問題が例年出題されている。円周角の定理と組み合わせた問題も出題されることがあるので、対策が必要である。

新研究で対策！

●「チャレンジ！平面図形と空間図形の総合問題」 (p. 186～187) で、三平方の定理を利用する問題を集中強化することができます。

大問1～2は基本的な小問が中心の出題なので、全問正解できるように復習しておきましょう。



★茨城県入試出題内容別・形式別傾向分析(過去4年間)

出題内容別の傾向	単元名／項目	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	1年内容	●	●	●	●
	正の数・負の数	●	●	●	●
	文字と式			●	
	方程式	●	●		
	比例と反比例	●	●		
	平面図形			●	
	空間図形	●	●	●	●
	データの分析と活用	●			●
	2年内容	●	●	●	●
	式の計算	●			
	連立方程式	●			
	1次関数	●		●	●
	図形の調べ方	●		●	●
	三角形	●			
	平行四辺形				●
	確率	●	●	●	●
	データの比較と箱ひげ図	●	●	●	
	3年内容		●	●	●
	式の計算		●	●	●
	平方根	●	●	●	●
	2次方程式	●	●		●
	関数 $y=ax^2$	●	●	●	●
	相似な図形	●	●	●	●
	円の性質		●	●	●
	三平方の定理	●	●	●	●
	標本調査				
出題形式別の傾向	大問数	6	6	6	6
	小問数	21	21	21	21
	記述問題				
	図形の証明(説明)				
	その他の説明・証明など				
	立式・解法の過程の記述				
	作図(図形)				
	作図(グラフ)				

★新研究で出題した茨城県の入試問題(令和7年度)

p.49大問3